



Seascape

神戸学院大学ポニーアイ図書館 展示会通信第36号

ポートピア博覧会 1981→2025

2025年7月16日(水)～8月28日(木)
神戸学院大学ポニーアイ図書館
ポニーアイ図書館入口ゲート横ギャラリー

企画 現代社会学部社会防災学科 水本ゼミ2年次生
「テーマ型ゼミナールA」

神戸の高度経済成長

1955年（昭和30）から始まった高度成長で神戸経済も、市街地内の既存工業の回復によって順調に成長していった神戸市の開発事業は、「山、海へ行く」と後に呼ばれるように、山を削って跡地を住宅地とし、その削り取った土砂で海を埋立て産業用地とした。

山、海へ行く

当時、六甲山系の西の端に位置する標高291メートルの高倉山を140メートル切り下げ、4000万立方メートルの土を削り取る計画が立てられた。山を階段状に切り崩すベンチカット方式で掘削が行われ、ベルトコンベアーで海岸まで運び、そこから海上を輸送した。

ポートアイランド

ポートアイランドの建設は、第1期（昭和41年～56年（1966～1981））と第2期（昭和61年～平成21年（1986～2009））の計画。ポートアイランド完成を記念して開催されたポートピア'81は、神戸経済のイメージアップにつながったのみでなく、地方博としては破天荒の1600万人の入場者となり、神戸市の都市経営の名声を全国に広めた。

神戸ポートピア博覧会'81

開催期間 1981年3月20日（金）～9月15日（火）

場所 神戸市中央区港島中町及び港島

展示館 国内館 27館 外国館 5館

入場者

総入場者 1,610万2,752人

1日平均入場者数 8万9,460人

最高入場者数（9月6日）26万8,138人

最低入場者数（4月9日）3万5,207人

パンダ館

ポートピアにきたパンダは、中国の天津動物園で飼育されていた。

メスのロンロン（蓉蓉）は17歳、体重は95キロ、オスのサイサイ（ ）は、6歳の遊び盛り。体重は117キロ。食事は1日4回。竹、サトウキビ、果物、かゆなどで、1日の食事代は、1頭あたり8千円。竹は神戸市北区の竹を使った。

阪神・淡路大震災による ポートアイランドの被災と仮設住宅

液状化で約50%が泥に覆われたライフラインの寸断で孤島状態になった。ポトライナーの全面再開のめどがなかなか立たない。当時、100社前後の企業の本社や事務所があり、2万人以上が島外から通勤していた。ポトライナーの完全復旧は約半年後。建設された仮設住宅は、プレハブなど4万8300戸が建設され、供給までに数カ月かかるケースもありました。避難所生活が長くなり、病気で亡くなる「災害関連死」も目立ちました。

ポートアイランドキャンパス

大学創立から40年で7学部、約1万1千人の学生を擁する総合大学に発展した神戸学院大学に、神戸市から震災で利用不能となったポートアイランドのコンテナヤード14・5ヘクタールの売却話が持ち込まれた。2007年4月に開設したキャンパスには、まず6年制に移行した薬学部の2年生以上、法学部・経済学部・経営学部の3、4年次生が移転した。D号館が2015年春にC号館の南向いに完成した。

「ポートピア花壇」

神戸市内を散歩していたら、ある花壇を見つけました。近づいてみると、花壇の側面に、「ポートピア'81」という文字が書かれています。この花壇は、神戸市内のあちらこちらで見ることができます。ポートアイランド内にも設置されています。

参考文献

神戸ポートアイランド博覧会協会『神戸ポートアイランド博覧会写真集』（1982）

神戸ポートアイランド博覧会協会『神戸ポートアイランド博覧会公式記録』（1982）

神戸ポートアイランド博覧会協会『神戸ポートアイランド博覧会公式ガイドブック』（1981）

神戸ポートアイランド博覧会協会『神戸ポートアイランド博覧会公式ガイドマップ』（1981）

神戸市立王子動物園『パンダ滞在記ポートピア'81』（1982）

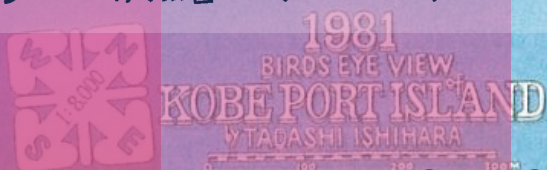
神戸新聞「「神戸ポートピア博」40年前の秘蔵映像20日公開」（2021年3月16日）

神戸市役所「BEKOBE神戸の近現代史」

https://www.city.kobe.lg.jp/culture/modern_history/index.html

Towers『ポートピア花壇搜索隊』1, 2, 3（2024-2025）

神戸学院大学出版会『「神戸学院物語」教育に懸けた夢と情熱』（2022）



SeaScape

第36号 2025年7月発行

発行・編集：神戸学院大学ポートアイランドキャンパス図書館

〒650-8586 神戸市中央区港島1丁目1番3